

『日本台湾学会報』創刊号～第20号総目次

創刊号（1999年5月）

日本台湾学会設立大会記念シンポジウム「台湾研究」とは何か？

「台湾研究」のイメージ（司会者冒頭発言） 若林 正文…1

I 比較の中の台湾 瀬地山 角…3

II 地域研究としての台湾経済研究 佐藤 幸人…9

III 中国現代史と台湾現代史——政治学の角度から 塚本 元…16

IV 台湾史研究はいかにして成立するか？

——台湾ナショナリズムの歴史記述戦略—— 呉 密察…21

V 越境する文学と言語——中国文学・台湾文学・日本文学 山口 守…25

日本台湾学会設立大会記念講演

五十年来台湾研究の回顧

——文化人類学研究者としての歩みと願い—— 陳 其南（何 義麟・整理）…31

論文

装置としての「台湾」と日本人の外縁 ～在暹「台湾人」国籍問題～ 川島 真…39

植民地台湾における祭祀公業制度の改廃問題 呉 豪人…54

楊逵と入田春彦 ～台湾人プロレタリア作家と総督府警察官の交友をめぐる

張 季琳…76

「国語」の転換をめぐる台湾人エスニシティの政治化

—戦後台湾における言語紛争の一考察— 何 義麟…92

研究ノート

もう一つの「世界」？ —東アジアと台湾の福祉国家 1— 林 成蔚…108

戦後台湾政治と経済の変容 —民主化と経済発展の課題— 石田 浩…127

第2号（2000年4月）

論説

呂赫若の演劇活動—その演劇的挫折と文学への帰還— 垂水 千恵…1

呉濁流『アジアの孤児』論—その地政学的配置とジェンダー— 李 郁蕙…13

1948年前後の台湾新文学運動にかかわる論争と脱植民地化の問題

—『新生報「橋」副刊』を中心に— 丸川 哲史…25

エスニック・バウンダリーから「民族集団」を考える

—台湾先住民族サイシャットを事例として— 陳 文玲…46

台湾祭祀公業研究をめぐる「伝統中国」と「近代法継受」の相克 劉 夏如…58

戦後台湾の官吏制度と党政関係—政府の「党化」と現代公務員制度— 渡辺 剛…83

台湾家族史の回顧と展望 許 雪姬（張 士陽訳）…102

研究ノート

蔣経国による特務組織の再編—特務工作統括機構の役割を中心に— 松田 康博…114

第3号 (2001年5月)

論説

台湾の政治的民主化と中国国民党「党営事業」 松本 充豊…1

社会保障制度の政治過程

—90年代の台湾における健康保険と年金の改革・形成— 林 成蔚…24

九年国民教育政策の研究

—戦後台湾教育の二面性の起源に関する考察— 山崎 直也…50

台湾のポスト植民地期(1945-50)における文学

—異文化接触とステレオタイプの形成— 丸川 哲史…70

佐藤春夫の台湾物「女誠扇綺譚」を読む—「私」と世外民を中心に— 姚 巧梅…89

日本統治前期の台湾実業教育の建設と資源開発—政策面を中心として— 呉 文星…103

台湾原住民ツォウの旧〈獵場〉における土地権 宮岡 真央子…121

60年代台湾文学—「現代」と「郷土」—白 先勇(池上 貞子訳)…131

研究ノート

「ダレス・蔣共同コミュニケ」再考 石川 誠人…139

第4号 (2002年7月)

論説

台湾の大陸政策(1950-58) —「大陸反攻」の態勢と作戦— 松田 康博…1

中国の対台湾政策 —1950年代前半まで— 青山 瑠妙…20

台湾の直接投資と産業空洞化 赤羽 淳…40

立身出世を求める青年たち—「風俗小説」張文環新論— 張 文薫…56

植民地統治初期における台湾総督府メディア政策の確立

—植民地政権と母国民間人の葛藤— 李 承機…81

日本統治期台湾先住民社会の変化—霧社地域を事例に— 野口 真広…100

研究ノート

台湾の対沖縄投資計画 渡邊 ゆきこ…125

講演

近代性を求めて：台湾研究について考えること 呉 乃徳…145

第5号 (2003年5月)

論説

中華文化復興運動と「方言」問題(1966～76年)

- マスメディアの「方言番組制限」に至る過程を中心として— 菅野 敦志…1
 青年会から青年団への転換—台北州 A 街の場合 (1926 ~ 1934 年)— 宮崎 聖子…21
 植民地を語る苦痛と快樂
 —台湾と日本のはざまにおける真杉静枝のアイデンティティ形成— 李文茹…42
 マラホーから頭目へ—台湾タイヤル族エヘン社の日本植民地経験— 中村 平…65
 1905 年臨時台湾戸口調査が語る台湾社会—種族・言語・教育を中心— 富田 哲…87
 外国人労働者が台湾の雇用と産業構造に与える影響 中原 裕美子…107
 台湾企業の直接投資と本国の生産活動
 —企業ベースのデータを使った投資先別比較分析— 赤羽 淳…129

研究ノート

- 現代台湾における台湾ナショナリズムの展開とその現在の帰結
 —台湾政治観察の新たな課題— 若林 正文…142

講演

- 日本・台湾・中国の三十年 岡部 達味…161
 台湾環境史研究：新たな視角をもとめて 劉 翠溶 (松金 公正訳) …176

第 6 号 (2004 年 5 月)

論説

- 銀鈴会の投稿活動 上村 ゆう美…1
 周金波研究—アイデンティティ形成分析を通して— 末岡 麻衣子…25
 戦後台湾における二つの文化の構築
 —「新中国文化」から「新台湾文化」への転轍の政治的文脈— 林 泉忠…46
 台湾における「簡体字論争」—国民党の「未完の文字改革」とその行方— 菅野 敦志…66
 「反共」から「自由中国」へ—末期アイゼンハワー政権の台湾政策の変化— 前田 直樹…93
 蕃童教育所の教員が巡査であったこと
 —日本植民地下台湾の先住民教育の担い手に関する基礎的考察— 北村 嘉恵…107
 皇民化期 (1937 - 45) 台湾民衆の国語常用運動
 —小琉球「国語講習所」「全村学校」経験者の聞き取り調査を中心に— 藤森 智子…131

第 7 号 (2005 年 5 月)

論説

- 日中戦争期における台湾拓殖会社の金融構造 湊 照宏…1
 台湾の「両性工作平等法」成立過程に関する国際社会学的考察
 —多様化社会建設に向けた国家戦略としてのジェンダー主流化をめぐる—
 金戸 幸子 …18
 2004 年台湾総統選挙分析 —陳水扁の再選と台湾アイデンティティ— 小笠原 欣幸…44

- 中台の軍事バランス —中台の安全保障戦略に与える影響— 松田 康博…69
 日本統治期台湾文学における「女性」イメージの機能性 張 文薫…90
 二・二八事件以後の「沈黙」の意味 —『国声報』「南光」副刊を中心に— 丸川 哲史…106
 「蕃人」・ジェンダー・セクシュアリティ
 —真杉静枝と中村地平による植民地台湾表象からの一考察— 李 文茹…129
 台湾原住民族作家たちの「回帰部落」とその後 魚住 悦子…149

研究ノート

- 癒しの民俗宗教としての台湾キリスト教 —真耶穌教会を事例として— 藤野 陽平…166

講演

- 社会科学者達よ、ともに台湾史研究に取り組もう！ 柯 志明（張 士陽訳）…178

第8号（2006年5月）

論説

- 台湾総督府の政策評価—米のサプライチェーンを中心に— 中嶋 航一…1
 植民地台湾における青年団の変容
 —1930年代後半の諸制度との関連を中心に— 宮崎 聖子…22
 ジョンソン政権と台湾海峡兩岸 —信頼性と自己抑制— 佐橋 亮…42
 「台湾語を媒介とした国語教育」再考
 —戦後初期台湾における言語政策の一断面— 菅野 敦志…67
 島田謹二『華麗島文学志』におけるエグゾティスムの役割 橋本 恭子…88
 葉石濤作品に見られる日本文学の影響 —太宰治を中心に— 戸田 一康…108

書評

- 施正鋒著『台湾原住民族政治與政策』 石垣 直…123

講演

- 国史館と台湾史研究 張 炎憲…129

石田浩理事長追悼

- 石田浩先生を偲ぶ 若林 正丈…136
 石田浩先生のお心を想い、悲しみは消えない 下村 作次郎…138

第9号（2007年5月）

論説

- 二つの正月 —植民地台湾における時間の重層と交錯（1895-1930年） 顔 杏如…1
 植民地体制における「文明」の両義性
 —『台湾協会会報』の二言語使用の明暗構造への分析を通して 許 時嘉…23
 1920年代台湾における地方有力者の政治参加の一形態
 —嘉義街における日台人の協力関係に着目して 藤井 康子…45

- 洪元煌の抗日思想 —ある「台湾青年」の活動と漢詩 陳 文松…67
- 故宮博物院をめぐる戦後の兩岸対立 (1949-1966 年) 家永 真幸…93
- 台湾の外交関係断絶国との実務関係—1950 年初頭の英国との例を中心に 竹茂 敦…115
- 民進党政権の「人権外交」—逆境の中でのソフトパワー外交の試み 佐藤 和美…131
- 「客人」から客家へ—エスニック・アイデンティティの形成と変容 田上 智宜…155
- 現代台湾社会運動の「成功」と変容
- 高雄県美濃鎮におけるダム建設反対運動とまちづくり 星 純子…177
- 現代台湾の多文化主義と先住権の行方
- 〈原住民族〉による土地をめぐる権利回復運動の事例から 石垣 直…197
- 台湾の介護サービスとホームヘルパー 陳 真鳴…217
- 在台日本人の郷土主義 (レジオナリズム)
- 島田謹二と西川満の目指したもの 橋本 恭子…231

研究ノート

- 日本統治期台湾における楊雲萍の詩—白話詩と日本語詩集『山河』を中心に 唐 顯芸…253

書評

- 五十嵐真子・三尾裕子編『戦後台湾における〈日本〉 植民地経験の連続・変貌・利用』
若林 正丈…265

講演

- 戦後台湾における台湾研究について—台湾史研究を中心として 張 勝彦 (張 士陽訳) …269

第 10 号 (2008 年 5 月)

論説

- 「愛郷心」と「愛国心」の交錯
- 1930 年代前半台湾における郷土教育運動をめぐって 許 佩賢…1
- 1950 年代初期台湾の中国化 —「改造」と「中央化」の影響を中心に 菅野 敦志…17
- 1950 年代台湾における「失学民衆」への「国語」補習教育
- 元「日本人」の「中国化」の挫折 森田 健嗣…39
- アメリカの許容下での「大陸反攻」の追求
- 国府の雲南省反攻拠点化計画の構想と挫折 石川 誠人…55
- ローバー号事件の解決過程について 羽根 次郎…75
- 李登輝総統の大陸政策決定過程—「戒急用忍」を事例として 黄 偉修…97
- 懸賞当選作としての「パイヤのある街」
- 『改造』懸賞創作と植民地〈文壇〉 和泉 司…119
- 王白淵の東京留学について 唐 顯芸…141
- 翁鬧を読み直す—「鱸爺さん」の語りの実験をめぐって 黄 毓婷…159

講演

現代台湾における族群概念の含意と起源 王 甫昌（田上 智宜訳）…176

第 11 号（2009 年 5 月）

日本台湾学会設立 10 周年記念シンポジウム「台湾研究この 10 年、これからの 10 年」

総合司会挨拶 若林 正丈…1

基調報告

日本台湾学会の 10 年を振り返って 春山 明哲…5

台湾研究、この 10 年、これからの 10 年 関西地域における台湾研究 下村 作次郎…11

パネルディスカッション報告

台湾政治研究はどこから来て、どこへ向かうか？

—これまでの 10 年、これからの 10 年— 松田 康博…27

台湾経済研究における課題とアプローチの変化 佐藤 幸人…45

台湾研究この 10 年：台湾を対象とした人類学の発展過程 三尾 裕子…57

台湾文学研究、この 10 年、これからの 10 年 星名 宏修…67

台湾史研究の動向と課題 —学際的な台湾研究のために— 駒込 武…75

総括と提言 設立 10 年を経た「台湾研究」のイメージ（司会者総括発言） 川島 真…91

パネルディスカッション質疑応答録 …95

論説

李登輝総統の大陸政策決定モデルに関する一考察

—1998 年辜汪会見を事例として— 黄 偉修…105

2008 年台湾総統選挙分析—政党の路線と中間派選挙民の投票行動— 小笠原 欣幸…129

「蕃語編纂方針」から見た日本統治初期における台湾原住民語調査 三尾 裕子…155

台湾原住民族部落 スマグスにおける観光事業と多文化教育

—タイヤル住民の「部落を教室にする」実践— ヤユツ ナパイ…177

身体的記憶が喚起する廢墟の記憶

—朱天心『ハンガリー水』における眷村表象を中心に— 倉本 知明…199

台湾人作家巫永福における日本新感覚派の受容

—横光利一「頭ならびに腹」と巫永福「首と体」の比較を中心に— 謝 恵貞…217

研究ノート

『相思樹』小考—台湾最初の俳誌をめぐる— 沈 美雪…233

講演

我が学問と我が人生 李 遠哲（胎中 千鶴訳）…247

第 12 号 (2010 年 5 月)

特集「台湾原住民族にとっての霧社事件」

学会企画シンポジウム報告・コメント

「台湾原住民族にとっての霧社事件」—特集に寄せて— 駒込 武…1

ガヤと霧社事件 タクン・ワリス…7

霧社事件研究の課題 呉 密察…21

「台湾原住民族にとっての霧社事件」を問う 北村 嘉恵…29

霧社事件研究の回顧と展望 春山 明哲…45

「ガヤ」回復への歩み—霧社事件研究の意味を考える— 下村 作次郎…49

学会企画シンポジウム参考資料

Kari Alang Nu Gluban (清流部落簡史) ダックス・パワン…53

Takun Walis 邱建堂 口述歴史 タクン・ワリス…65

Nguhan 家族族譜 (抜粋) …75

論説

啓蒙思想期以降のヨーロッパにおける南台湾記述と「南東台湾」の発見について

羽根 次郎…77

植民地台湾における強制性病検診治療制の確立過程 張 曉旻…101

1920年代台湾における高雄州設置と中等学校誘致問題

—高雄・鳳山・屏東各街の日台人の動向に着目して— 藤井 康子…125

毛沢東の対「大陸反攻」軍事動員 (1962年)

—台湾海峡における「現状」と蒋介石の「歴史的任務」— 福田 円…149

米中和解プロセスの開始と台湾問題

—アメリカによる信頼性と安定の均衡の追求— 佐橋 亮…173

巫永福「眠い春杏」と横光利一「時間」

—新感覚派模写から「意識」の発見へ— 謝 惠貞…199

台湾の高校「国文」教科書における台湾文学

—鄭清文「我要再回来唱歌」を中心に— 松崎 寛子…219

研究ノート

戦後における台湾から「琉球」への技術者・労働者派遣事業について 八尾 祥平…239

第 13 号 (2011 年 5 月)

論説

日本統治初期の台湾における刑法適用問題

—依用慣行の起源と総督府・法院の対立— 小金丸 貴志…1

台湾原住民族社会地方化の日本統治時代における展開 松岡 格…25

「帝国の時間」と植民地台湾—天長節と紀元節を例として— 顔 杏如…51

愛情のユートピアから情欲と狂気のディストピアへ

—「解嚴」前後における蘇偉貞の眷村表象— 倉本 知明…77

「虚構」の想像と創造

—李喬《寒夜三部作》におけるフォークナー作品の影響を中心に— 明田川 聡士…95

『台湾民間文学集』故事篇にみる 1930 年代台湾新知識人の文化創造 豊田 周子…115

日本台湾学会第 12 回学術大会記念講演

司法院大法官の解釈と台湾の民主政治・法治主義の発展 翁 岳生…135

第 14 号 (2012 年 6 月)

論説

縣市合併後の地域政治変動と社会運動

—高雄市美濃区におけるローカルレジーム再編の初歩的考察— 星 純子…1

日本統治下台湾におけるキリスト教と反植民地主義ナショナリズム

—宣教文書『山小屋』(1938)に見る「苦しみ」と「愛国」の問題に着目して—

三野 和恵…24

戦後初期における台湾の政治社会と在日日本人

—蒋介石の対日「以德報怨」方針の受容をめぐる— 深串 徹…47

帝国臣民から在日華僑へ—渋谷事件と戦後初期在日台湾人の法的地位— 楊 子震…70

書いたのは誰の歴史か?—『南方移民村』から見る濱田隼雄の歴史意識— 鳳気至 純平…89

帝国アカデミーの「知」と 1940 年代台湾文学の成立

—『台大文学』と「東洋学」を中心に— 張 文薫…108

在日日本人商工業者の日月潭発電所建設運動 清水 美里…122

日本統治期台湾をとりまく情勢の変化と台湾総督府翻訳官 富田 哲…145

日本台湾学会第 13 回学術大会記念講演

台湾研究—帝国主義とナショナリズムのはざま— ベネディクト・アンダーソン…169

比較史、地政学、そして日本において台湾を研究するという寂しい営み

—ベネディクト・アンダーソンへの応答— 呉 叡人…177

交錯する三本の道 —台湾研究、日本研究、方法としての感情— 梅森 直之…183

第 15 号 (2013 年 6 月)

論説

戦後台湾山地社会における原住民族言語の維持と継承

—キリスト教会が果たした役割に注目して— 森田 健嗣…1

日本統治期台湾における仏教留学生の学知・思想

—台湾人仏教青年曾景来を中心として— 大野 育子…20

台湾ポストニューシネマの日本表象

—『悲情城市』(1989年)から『海角七号』(2008年)へ— 赤松 美和子…40

研究ノート

宜蘭県の住民の環境意識の計測 陳 周渝・石橋 健一・王 鴻濬…55

日本統治時代の台湾における大成火災の事業展開 曾 耀鋒…69

日本台湾学会第14回学術大会記念講演

台大哲学系事件の回顧 趙 天儀(松永正義訳)…83

書評

川上桃子著『圧縮された産業発展—台湾ノートパソコン企業の成長メカニズム—』

赤羽 淳…89

洪紹洋著『台湾造船公司の研究—植民地工業化と技術移転(1919-1977)—』 堀内 義隆…93

湊照宏著『近代台湾の電力産業—植民地工業化と資本市場—』 中嶋 航一…99

黄偉修著『李登輝政権の大陸政策決定過程(1996～2000年)—組織的決定と独断の相克—』

竹茂 敦…104

菅野敦志著『台湾の国家と文化—「脱日本化」・「中国化」・「本土化」—』

『台湾の言語と文字—「国語」・「方言」・「文字改革」—』 何 義麟…109

石垣直著『現代台湾を生きる原住民—ブヌンの土地と権利回復運動の人類学—』

原 英子…117

松岡格著『台湾原住民社会の地方化—マイノリティの20世紀—』 西村 一之…121

紀旭峰著『大正期台湾人の「日本留学」研究』 梅森 直之…128

橋本恭子著『『華麗島文学志』とその時代—比較文学者島田謹二の台湾体験—』

藤澤 太郎…134

和泉司著『日本統治期台湾と帝国の〈文壇〉—〈文学懸賞〉がつくる〈日本語文学〉』

中島 利郎…140

第16号 (2014年6月)

論説

李喬「小説」と1960年代台湾文学界における安部公房の受容

—台湾文学における1960年代実存主義運動から80年代民主化運動への展開—

明田川 聡士…1

白先勇小説の映画への改編をめぐる

—エグザイルとしての在米中国人— 八木 はるな…22

2012年台湾総統選挙と立法委員選挙の分析

—同日選挙効果と分割投票— 小笠原 欣幸…35

もう一つの新嘗祭—植民地台湾における祭日としての展開— 周 俊宇…59

国立台湾大学における日本人留用政策 井上 弘樹…84

戦後初期台湾における言語政策研究再考

—代行された脱植民地化の視角から— 森田 健嗣…107

日本台湾学会第 15 回学術大会シンポジウム

「東アジアの近代を読み直す～植民地、越境、冷戦～」基調報告

脱植民地化の文学と言語戦争 西 成彦…126

書評

星純子著『現代台湾コミュニティ運動の地域社会学—高雄県美濃鎮における社会運動、民主化、社区総体营造—』 堀江 俊一…136

陳培豊著『日本統治と植民地漢文—台湾における漢文の境界と想像—』 羽根 次郎…142

第 17 号 (2015 年 9 月)

特集「中台関係の新展開と社会変動」

「太陽花運動」への道—台湾市民社会の中国要因に対する抵抗— 呉 介民 (平井 新 訳) …1
現実と想像上の台湾

—兩岸関係が中国経済、文化、政治に与える影響— 林 宗弘 (平井 新 訳) …38

論説

「対立」をつくり出すメディア

—台湾におけるメディアと政治の相互関係— 林 成蔚…70

台湾マスメディアにおける中国の影響力の浸透メカニズム 川上 桃子…91

GHQ 占領期における在日台湾人のメディア経営とその言説空間 何 義麟…110

康寧祥と「党外」の黎明—台湾オポジション第 2 次組党運動前夜— 若林 正文…128

李喬『結義西来庵』における「抗日」表象の重層性

—1970 年代官製文学の中での抵抗と台湾意識の再編成— 明田川 聡士…144

坂口禰子の台湾蕃地小説とその系譜 —戦中と戦後を通して— 小笠原 淳…165

19 世紀中葉の台湾北西部における隘の制度的役割と実態に関する一考察

—隘首の任免をめぐる行政訴訟を例に— 佐和田 成美…185

研究ノート

蔣経国の「大陸光復」構想 (1969 ~ 88 年)

—蒋介石からの継続性と情勢に応じた変質に着目して— 五十嵐 隆幸…211

現代台湾において日本統治時代を肯定的に評価しているのは誰か？

—「台湾社会変遷基本調査」の探索的分析— 寺沢 重法…226

書評

中島利郎著『日本人作家の系譜—日本統治期台湾文学研究—』 澤井 律之…241

福田円著『中国外交と台湾—「一つの中国」原則の起源—』 竹茂 敦…246

赤羽淳著『東アジア液晶パネル産業の発展—韓国・台湾企業の急速キャッチアップと日本企業の対応—』 中原 裕美子…251

朝元照雄著『台湾の企業戦略—経済発展の担い手と多国籍企業化への道—』

田島 真弓…257

第 18 号 (2016 年 8 月)

日本台湾学会第 17 回研究大会シンポジウム

東日本大震災と台日交流—台南市と仙台市の青少年交流事業を例として—

第 17 回学術大会実行委員長 沼崎 一郎…1

論説

台南市青少年訪問団派遣事業

—被災者招待型ツーリズムの人類学— 一條 文佳 沼崎 一郎…4

台湾における軍事戦略の転換 (1961-1991 年) 五十嵐 隆幸…19

台湾省議会とオポジションの形成 — 党外議員の行動と戦略— 岸川 毅…42

戦後台湾の映画館における国歌フィルム上映プログラムの確立 三澤 真美恵…63

経済協力と日華関係の再模索—第一次円借款の交渉過程を中心に— 許 珩…86

戦間期台湾における近代交通網の展開 松葉 隼…104

1950 年代台湾の通俗出版をめぐる文芸政策と專業化 張 文菁…126

書評

大東和重著『台南文学 日本統治期台湾・台南の日本人作家群像』

—「孤独の香気」を再現させた稀有な文学研究書— 垂水 千恵…146

清水美里著『帝国日本の「開発」と植民地台湾—台湾の嘉南圳大圳と日月潭発電所—』

—鳥山頭の賑わいを見ながら八田與一と三年輪作を考える— やまだ あつし…150

第 19 号 (2017 年 10 月)

日本台湾学会第 18 回学術記念講演

Only One 戦略により自転車新しい文化を推進する 劉 金標…1

論説

植民地経験、戦争経験を「飼いならす」

—日本人を神に祀る信仰を事例に— 三尾 裕子…14

性的少数者の制度への包摂をめぐるポリティクス

—台湾のジェンダー平等教育法を事例に— 福永 玄弥…29

田中綱常から田中將軍への人神変質 —〈族群泯滅〉の民衆史学—

林 美容 三尾 裕子 劉 智豪…50

研究ノート

『台湾文芸』第 9 期王井泉特集における歴史回想に対する一考察 白井 魁…71

書評

何義麟著『台湾現代史—二・二八事件をめぐる歴史の再記憶』

—族群和解としての二・二八— 田上 智宜…85

清水純著『画像が語る台湾原住民の歴史と文化—鳥居龍蔵・浅井恵倫撮影写真の探求』

—過去の探索から知る台湾原住民の現在— 宮岡 真央子…90

須永徳武編著『植民地台湾の経済基盤と産業』

—日本経済史・経営史研究からみる植民地台湾経済— 堀内 義隆…96

陳芳明著（下村作次郎・野間信幸・三木直大・垂水千恵・池上貞子訳）『台湾新文学史（上・下）』

—台湾現代文学の見取図を描いた大著— 星名 宏修…103

三尾裕子・遠藤央・植野弘子編『帝国日本の記憶—台湾・旧南洋群島における外来政権の重層化と脱植民地化』

—台湾と旧南洋群島を比較し、植民地をめぐる歴史認識を再考する—
黒崎 岳大…110

第20号（2018年7月）

特集「シンポジウム 転型正義と台湾研究」

大いなる幻影に抗して—台湾の市民社会による転型正義への試み 呉 豪人…1

コメント 「転型正義」／「転型不正義」からの問い 北村 嘉恵…30

コメント ヘゲモニーに抗する研究の共和 森 宣雄…38

論説

台湾と樺太における日本帝国外地農業試験研究機関の比較研究 中山 大将…45

移民工文学賞という試み—包摂と排除の狭間で— 倉本 知明…67

台湾における高学歴化と不完全就業—宿泊業・飲食サービス業を中心に—

國府 俊一郎…82

日本における台湾「市民社会」の伸張と受容—仏教系民間非営利組織を事例として—

今井 淳雄…104

台南の「救世主」となった「日本人」—湯徳章英雄説の検証と分析— 天江 喜久…126

研究ノート

台湾地方自治連盟による1933年の朝鮮地方自治制度視察の意義

—楊肇嘉の構想する台湾地方自治制度の参照として 野口 真広…148

書評

菊池一隆著『台湾北部タイヤル族から見た近現代史—日本植民地時代から国民党政権時代の

「白色」テロへ— 一角板山（桃園市復興区）と理蕃政策、そしてロシン・ワタン（林瑞昌）
はどう生きたか— やまだ あつし…164

藤森智子著『日本統治下台湾の「国語」普及運動—国語講習所の成立とその影響』

—「国語普及」とは何だったのか— 白井 魁…170

山本和行著『自由・平等・植民地性—台湾における植民地教育制度の形成—』

—日本から植民地台湾へ、越境する教育課題とその転回— 藤井 康子…177

駒込武著『世界史のなかの台湾植民地支配—台南長老教中学校からの視座—』

—「帝国のはざま」に描く「構造的弱者」の主体性—台湾人の「夢」をめぐる実証的物語—

山内 文登…182

所澤潤・林初梅編『台湾のなかの日本記憶—戦後の「再会」による新たなイメージの構築』
—パラレルからオルターナティブへ—変化する戦後台湾の「日本」をめぐる—

五十嵐 真子…191

星名宏修著『植民地を読む 「贗」日本人たちの肖像』

—台湾文学研究の死角から日本の「近代」を問い直す— 豊田 周子…198

呉宏明著『日本統治下台湾の教育認識 書房・公学校を中心に』

—台湾を中心とした台湾教育史へ— 安達 信裕…205

エッセイ 台湾研究を始めるということ

私の台湾研究事始めの頃 若林 正丈…211

『日本台湾学会報』創刊号～第20号総目次